

## 関西学院クリスマス

12/18(月) at ザ・シンフォニーホール

関西学院のクリスマス音楽礼拝が、クラシックの殿堂、ザ・シンフォニーホールで12月18日(月)に開かれます。

第一部の「クリスマス礼拝」では、関西学院中央講堂で行われる礼拝をそのままに再現。第二部の「クリスマスコンサート」は、「サンタが街にやってくる」や「きよしこのよる」など、クリスマス音楽が溢れるコンサートです。

高校生・保護者の方もご参加いただけます。是非、ご参加いただき「関西学院のクリスマス」をお楽しみください。

日時: 2017年12月18日(月) 18:30~20:50  
16:30座席券交換開始、17:30開場、18:30開始  
場所: ザ・シンフォニーホール  
大阪府大阪市北区大淀南二丁目3-3

出演: 平林孝裕(クリスマスメッセージ)  
大宮有博(司式)  
木村 愛(聖書朗読)  
太宰まり(オルガン)  
平井満美子&佐野健二(歌とリュート)  
関西学院ハンドベルクワイア  
関西学院大学応援団総部吹奏楽部  
関西学院高等部吹奏楽部有志  
関西学院聖歌隊  
関西学院ゴスペルクワイア  
関西学院グリークラブ  
関西学院大学混声合唱団エゴラド  
関西学院高等部グリークラブ  
関西学院中学部グリークラブ  
KG合唱の会  
ベーツホールクワイア

参加費: 2000円当日座席指定

チケット販売:  
関西学院大学生協(0798・53・5150)  
チケットぴあ(Pコード: 345-158)  
ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内)

主催: 関西学院  
共催: 関西学院後援会、関西学院同窓会

問い合わせ: 関西学院宗教センター(0798・54・6018)  
※6歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください

取材などに関するお問い合わせは広報室までお願いします。  
関西学院広報室(0798・54・6017)

在日ポルトガル大使杯を受賞！  
全日本学生ポルトガル語弁論大会

中嶋桜太郎さん(法学部3年生)が、11月25日(土)に京都外国語大学で開かれた「第35回全日本学生ポルトガル語弁論大会」で、最優秀賞にあたる「ポルトガル大使杯」を受賞しました。日本の大学でポルトガル語を学んでいる学生(ポルトガル語圏に6か月以上の滞在、あるいはポルトガル語を母語とするものは除く)19名が参加した。

大阪府岬町出身。幼いころからヨーロッパの街並みや風景に興味があった。食べるのが好きで、海の近くで育ったため、大学入学後は海の食材を多く使うスペイン料理に興味を持ち、調べるようになった。そのうち、ポルトガルについても興味を持ち、言語にも魅了されていったという。「例えば、『サウダージ』という言葉は、昔を懐かしむ切なさや楽しさを表す複雑な言葉で、日本語では説明が難しい。こうした価値観についても、言葉を学ぶことで知りたいと思うようになった」と話す。

本格的にポルトガル語を学び始めたのは大学2年生の時。ブラジルの文化や音楽などに興味がある人が集まるコミュニティに参加し、そこで出会った在日ブラジル人から教わり始めた。その後、9月に初めてポルトガルを訪れ、現地の大学の言語と文化を学ぶコースで2か月間勉強した。



中嶋桜太郎さん

「ポルトガル人の友人ができたことで、言葉をどんどん吸収できた。また、価値観が違う人と触れ合い、意見交換をすることで学べることも多かった」と振り返る。

こうした経験をもとに、大会では「文化の多様性についての一視点」というテーマで発表。「違いを受け入れ、違いに触れることで互いに学び成長することができ、それがより良い世界を作ることにつながる」と訴えた。

今後は、大会の副賞で得た8か月間のポルトガル留学奨学金を使って、来年9月にもう一度留学をする予定。「前は、ポルトガル語と英語を使わないとコミュニケーションが取れなかった。ポルトガル語だけで何でもできるようになるのが目標です」と笑顔を見せた。

